

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.50

調査者	小久保 徹、井澤 和大
情報ソースの刊行日	2020年5月1日
情報ソースの調査日	2020年5月17日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2020年5月25日
日本語タイトル	Covid-19 患者における心血管疾患、薬物療法および死亡率
情報ソース	Mehra MR., et al. Cardiovascular Disease, Drug Therapy, and Mortality in Covid-19. The New England Journal of Medicine. 2020 May 1.
情報のカテゴリー	心疾患全般
発信地域	北アメリカ(米国)
DOI	10.1056/NEJMoa2007621.
URL	https://www.nejm.org/doi/pdf/10.1056/NEJMoa2007621
要約	<ul style="list-style-type: none"> 2019年12月20日から2020年3月15日までの間に入院した COVID-19 患者 8910 例（北アメリカ 1536 例、ヨーロッパ 5755 例、アジア 1619 例）を対象に、2020年3月28日時点での心血管疾患および薬物療法と院内死亡との関連について調査された。 8910 例中、院内死亡は 515 例(5.8%)、生存退院は 8395 例(94.2%)であった。 ベースライン時に有意差がみられた背景因子は、高齢、白人、男性、現喫煙者の割合が多く、また冠動脈疾患、心不全、不整脈、糖尿病、脂質異常症、慢性閉塞性肺疾患の有病率が高かった。 院内死亡リスクの増加とその独立関連因子は、65 歳以上(死亡率 10.0%)、冠動脈疾患(10.2%)、心不全(15.3%)、冠動脈疾患(10.2%)、不整脈(11.5%)、慢性閉塞性肺疾患(14.2%)、現喫煙者(9.4%)であった。女性は男性に比し院内死亡リスクは低かった。 院内死亡リスクの増加と薬物療法との関連はなかった。
最も注目するポイント 理学療法にどのように役立つか？	<ul style="list-style-type: none"> 心疾患や生活習慣病の既往は、COVID-19 の罹患リスクを高め、院内死亡リスクの増加につながる可能性がある。 心臓血管疾患患者の感染リスクを軽減させるべく、患者指導を継続的に行うことが重要である。